

## ボランティアガイドと一緒に 常設展示を見学しませんか!

ご希望の場合は、事前にお申し込みください。  
(博物館 TEL 025-386-1081  
おひとりから団体まで対応します)  
※目的に合わせて、時間・内容は調整できます。  
ご相談ください。



### ■お願い

- ・敷地内での喫煙、館内での飲食はご遠慮ください。
- ・展示品には触れないでください。
- ・常設展示室内の撮影禁止マークが付いている資料及び「郷土の芸術家」コーナーの撮影はご遠慮ください。

### ■あゆみ

- |             |  |
|-------------|--|
| 1968(昭和43)年 | 11月3日、豊栄町博物館として開館                                  |
| 1970(昭和45)年 | 11月1日、市制施行により豊栄市博物館となる                             |
| 1981(昭和56)年 | 3月28日、常設展示テーマを「福島潟と人々の暮らし」として現在地に移転開館。11月、登録博物館となる |
| 1998(平成10)年 | 7月2日、常設展示テーマを「一書聖一弦巻松隆の世界」に変更し、リニューアル開館            |
| 2004(平成16)年 | 4月13日、分館・横井の丘ふるさと資料館が開館(2022年3月廃止、2023年1月解体完了)     |
| 2005(平成17)年 | 3月21日、合併により新潟市豊栄博物館に名称変更                           |
| 2011(平成23)年 | 3月31日、郷土資料収蔵庫竣工<br>4月1日、新潟市北区郷土博物館に名称変更            |
| 2015(平成27)年 | 5月2日、常設展示テーマを「阿賀北の大地と人々の暮らし」に変更し、暫定開館              |
| 2016(平成28)年 | 11月3日、グランドオープン式典開催、市民ボランティアが常設展示ガイド活動を開始           |
| 2023(令和5)年  | 1月4日、常設展示に新コーナー「暮らしを支えた手織り葛塚縞」オープン                 |



### ■施設概要

- 【本館】・敷地面積 2,683㎡ ・構造 鉄筋コンクリート平屋建て  
・延床面積 1,064㎡  
展示ホール 154㎡、展示室 347㎡、収蔵庫 230㎡、  
特別展示室兼集会室 95㎡、図書室兼研究室 71㎡、  
事務室 27㎡、機械室 43㎡、その他 97㎡
- 【郷土資料収蔵庫】  
・構造 鉄筋コンクリート平屋(一部中2階)建て  
・延床面積 586.18㎡  
第1収蔵室 267.45㎡、第2収蔵室 122.55㎡、  
資料整理作業室 80.55㎡、その他 115.63㎡

### ■開館時間

9:00~17:00

### ■休館日

月曜日(休日の場合は開館)  
休日の翌日  
12月28日~1月3日

### ■観覧料

一般 260(200)円  
大学・高校生 130(100)円  
中学生以下 無料  
\*( )内は20人以上の団体料金  
\*大学・高校生は学生証をご提示ください  
\*障がい者手帳の提示等で観覧料免除

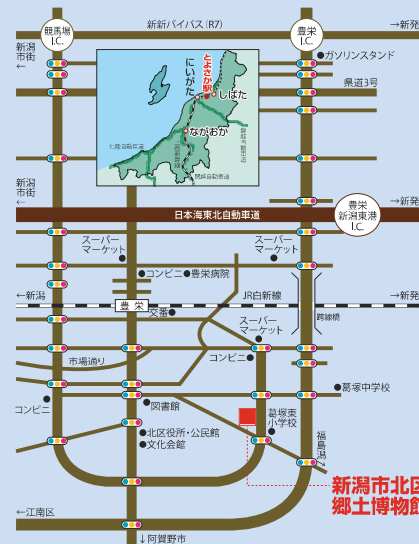
ホームページも  
ご覧ください



新潟市北区郷土博物館 検索

### ■交通のご案内

- 新新バイパス(R7)  
豊栄ICより車で10分  
競馬場ICより車で10分
- 日本海東北自動車道  
豊栄新潟東港ICより車で5分
- JR白新線  
豊栄駅南口より徒歩15分



**新潟市北区郷土博物館** 〒950-3322 新潟市北区嘉山3452番地  
TEL 025-386-1081 FAX 025-388-6290 E-mail museum.n@city.niigata.lg.jp

# 新潟市北区 郷土博物館

## 2026(令和8)年度のご案内

福島潟から北区を望む



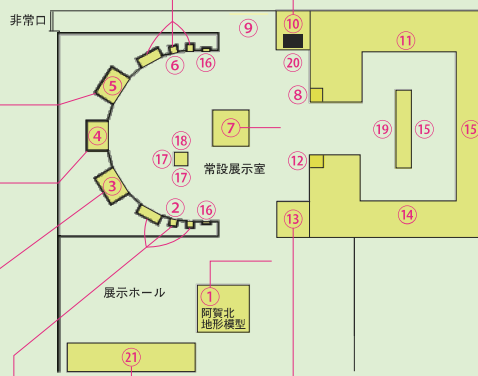
地域のおいたりや歴史・文化などを  
紹介しています。

北区の魅力を再発見してみませんか!

常設展示

# 阿賀北の大地と人々の暮らし

北区は、新潟市北地区と旧豊栄市等により構成されています。新潟市域では唯一阿賀野川右岸にあり、江戸時代には共に新発田藩や水原代官所の支配を受けてきました。また、1954(昭和29)年に北地区が新潟市と合併するまで、この地域は北蒲原郡西部郷と呼ばれ、地域的に1つのまとまりと認識されていました。半世紀以上が経ち、今また「北区」という新たな歴史を歩み始めています。



- ① 阿賀北のおいたち
- ② 大昔の暮らし
- ③ くずし字が伝える北区
- ④ 北区の明治維新
- ⑤ 新潟県三大小作争議  
木崎村小作争議
- ⑥ 越後随一の陶磁器 太丘焼
- ⑦ 暮らしを支えた舟
- ⑧ 水とのたたかい
- ⑨ 水害・治水・福島潟干拓パネル
- ⑩ 福島潟周辺の新田造りの道具
- ⑪ 農具が語る低湿地の暮らし
- ⑫ 水のめぐみ
- ⑬ 1935(昭和10)年頃の  
福島潟の漁労風景(模型)
- ⑭ 漁具が語る水辺の暮らし
- ⑮ 郷土の芸術家  
書家 弦巻松蔭の世界
- ⑯ 北区のあらし
- ⑰ 北区のあゆみ
- ⑱ 合併のあゆみ
- ⑲ 北区のすがた(写真)
- ⑳ 映像コーナー(7番組)
- ㉑ 暮らしを支えた手織り 葛塚編

手織り伝承活動(葛塚編手織りの会)  
毎週土曜 13:30~16:00

当館では、松浜・濁川・南浜地区の歴史資料や昔の暮らしを知る道具(特に塩作り・葉たばこ作り・漁業関係)がありません。寄贈いただける方はご連絡をお願いします。

## 2026(令和8)年度 企画展など事業のおしらせ



※8/30(日)~9/18(金)は、館内工事のため臨時休館します。

会期	事業
1/10(土) 5/6(水・休)	<b>昭和100年 衣食住タイムスリップ!</b> 昭和前半期の衣食住の道具を展示し、昭和時代の新潟の様子や出来事を写真で振り返ります。 4/11(土)、5/3(日・祝):展示解説会 4/12(日):昭和の紙芝居を楽しもう! 4/29(水・祝):蓄音機で昭和の音楽をきいてみよう
4月~10月	<b>美術講演会(各回関連展示あり)</b> ① 4/26(日):「何をつくれば、彫刻!?」 ~「彫刻」って何?その発想と実際~ 本間公司氏(彫刻家) 関連展示:4/7~5/6 ② 8/16(日):「テンペラ画の魅力と制作のおはなし」(仮称) 近藤 充氏(テンペラ画家) 関連展示:7/22~8/23 ③ 10/11(日):「弦巻松蔭の人と作品」 2027年 和泉哲章氏(東新潟中学校長) 関連展示:9/19~3/31 ④ 10/31(土):日本画家 齋藤満栄氏講演会 関連展示:10/27~11/23
通年	<b>体験イベント</b> 5/6(水・休):絵が変わる!からくり屏風を作ろう 7/25(土)、8/1(土):手織りで布作り 8/11(火・祝)、11/29(日):ワラでナベシキ作り 9/20(日):作ってあそぼう
5/23(土) 8/23(日)	<b>福島潟干拓270年 潟と人々</b> 新潟市最大の潟で、北区の歴史・文化を生み出してきた「福島潟」を中心に、絵画・写真・民具・絵図・古文書などから、人と潟のこれまでの歩みを紐ときます。 6/6(土):福島潟をめぐるバスツアー 6/14(日)、6/28(日)、7/12(日)、8/2(日):関連講座 6/27(土)、7/26(日)、8/22(土):展示解説会
9/19(土) 10/12(月・祝)	<b>第4回 新潟市北区こども作品展</b> 新潟市北区の小学生が夏休みに取り組んだ創意と工夫に富んだ自由研究や作品を展示します。 対象:新潟市北区の小学生 主催:新潟市北区
10/27(火) 2027年 1/31(日)	<b>市場で楽しくお買い物!(仮称)</b> 松浜市150年・葛塚市265年 人々の暮らしを豊かにし、町の発展にも大きく関わってきた市場の歴史を探り、その魅力を紹介します。 関連講座、体験イベント等を予定。
11/3(火・祝)	<b>北区の郷土芸能公演</b> 神楽・盆踊り・太鼓など郷土芸能に触れてみませんか! 会場:葛塚小学校体育館(予定)
2027年 2/20(土) 5/9(日)	<b>ひとをつなぐ、ものをはこぶ(仮称)</b> 人や物を「運ぶ」道具・乗り物、「つなぐ」道・川・橋 線路。白新線開通75年にあたり、このまちの運搬・交通のあゆみを紹介します。 関連講座等を予定。



\*詳細は、北区だよりやホームページでお知らせします。  
\*臨時休館、イベントの中止、事業内容等が変更になる場合があります。ホームページや電話でご確認ください。